

# 16. 2002 秋霧の中の美祢 と 小野田の銘菓 最中「せめんだる」

02mine00.htm

2002.10.12-14. by M. Nakanishi



霧の美祢



来福台 美祢市街・伊佐セメント 鳥瞰 桜山より



小野田の銘菓「せめんだる」

- 美祢の圧巻 「宇部興産 伊佐セメント 山を崩す露天掘り」 桜山からの景観
- 美祢の秋 「霧の中の来福台」 美祢名物 朝霧と街を覆う雲海
- セメントの街 小野田 小野田銘菓 最中「せめんだる」って知っていますか・・・

久しぶりに美祢に行こうという と「一度 セメントの街 美祢をみたい」とセメント会社勤めの娘家族も行くという。

美祢自慢の景色 国会議事堂を作ったあの美祢大理石 そして宇部興産伊佐の露天掘りを見せたいし、自然の中の来福台も見せたいし、孫も自然の中で め一杯 走らせたいし・・・黒田さんのみんな そして犬の「チャ」にも引き合わせたい。

10.12. 早朝 神戸を飛び出し、美祢 来福台の家へ 10時過ぎに到着して草取り。 昼過ぎに娘一家も到着。

今回は 娘一家が初めての美祢。一緒に 桜山へ登って また 秋芳洞 川棚温泉と瓦そば に案内したりでした。また、孫は黒田さんのみんなや犬の「チャ」に遊んでもらって大満足。

犬とみんなで散歩に行った来福台の上の公園の近くに 大阪のたこ焼きの店が出来ていたのにはビックリ。

孫にまで「お店一杯だった。今度はたこ焼き食べようね」と約束させられました。

美祢にいったら、色んな人に会いたいと思いつつ、行き当たりばったりで・・・

でも まちで何人かの懐かしい顔に会えて goo. また、久しぶりに小野田で先輩や仲間と酒が飲めました。いつ行っても 誰かに会える街 私には 尼崎・京都とそして美祢と

美祢もついに故郷になったなあ・・・と感じた3日間のスピード旅でした。

2002.10.14. 美祢から 柏に帰って

## 16.1. 美祢の圧巻「宇部興産 伊佐セメント」桜山からの景観

### 山を崩す露天掘り

02mine01.htm



SMI-ED

来福台

伊佐セメント

奥秋芳の住友セメント

セメント会社に勤める娘一家。「美祢の 宇部興産のセメント工場」そして「太平洋セメントの」重安事業所を見たいという。

そして、 海岸沿いに出たセメントの街 小野田にはセメントにちなんだ「せめんたる」というお菓子があるという。 プロ意識というか・・・やっぱり セメントにたずさわると気になるのか・・・娘までがいう。

それならば 伊佐セメントの露天掘りしているその現場に行って それから 桜山に登って 露天掘りしている伊佐セメントの全景をみせよう。



宇部興産 伊佐セメント工場 桜山より

美祢の伊佐セメント工場は美祢市の中央にどっしりと座る美祢のシンボル。

宇部興産のセメント工場でこの美祢の地で石灰石を掘り、ここから40km 南の瀬戸内海側宇部まで専用の弾丸道路が延び大型のタンク搭載車が粉碎焙焼されたセメント原料を宇部

まで運び出すスケールの大きい工場。その露天掘りのスケールの大きさを含め 桜山から見る景色はすごい。 まだ ゆうに100年は掘れるという。 また、この伊佐の露天掘りの山の直ぐ北には住友セメントの石灰石露天掘りの山が有り（秋芳町）、こちらは日本海側の長門の港まで約30km ベルトコンベヤがつながっている。

美祢周辺は隣接して秋芳洞・秋芳カルスト台地など大石灰岩台地が続き、今も日本のセメントの一大生

産地。また この石灰岩台地は同時に純白の美祢大理石等を産出し、大理石・オニックスの名産地であり、化石の宝庫でもある。知ってる人が少なくなったと聞きましたが、国会議事堂の大理石は美祢産と聞いています。

自宅のある来福台から 河原へ抜ける狭い道を通って、石灰石を掘削している現場へ。幾段もの荒涼とした岩肌を見せた露天掘りの現場が眼前にひろがり、粒度分別の機械が石灰石の大きな山を築いている。ぼくらには みんな同じような砂利に見えるが、石灰石の含有量やなんやかやで等級が分かれるという。河原の集落を抜けて 今はもうさびしくなったが、伊佐の町並みを通って 美祢インターの横から南の桜山への道をとる。ひっきりなしに石灰石を積んだ専用車が南へまっすぐに山の中に延びた専用道路を登って行くのが見える。

桜山に登って、展望台から 眼下に広がる美祢市街 そして伊佐セメントの露天掘りの全景を眺めました。いつ見てもすごい光景ですが、娘一家もあっけにとられて眺めていました。

自然破壊といえば 強烈な自然破壊であるが、ここの石灰岩が日本の産業基盤を作り出していったといっても過言でない。

伊吹山西側の近江長岡・東側の大垣 そして関東奥秩父の武甲山 いずれも山がけづられて石灰石採取が行われ、山が本当に不恰好な姿になっている。

しかし、この美祢では 山にかこまれた盆地の中で すり鉢状にけづられた露天掘りと工場全域が見渡せ、それはそれで`調和のとれた産業景観をなしている。

「美祢に行けばなにがある・・・」とよく聞かれるが、この景観と美祢大理石の純白は本当に素晴らしい。

私の家のある森に囲まれた住宅地来福台には この純白の大理石で作られた彫像があちこちに置かれている。家内にいわせると「歩道の車止めまで 純白の大理石 やりすぎ」というが・・・・・・・・・・ 石炭が斜陽化して 今セメントも成熟産業 この純白の大理石を見るたびにこれを生かせる道は ほかにはないのか・・・と思う。

参考 7. 美祢夏便り 大理石シンポジウム フィナーレ

2002.11.4. by M. Nakanishi

## 16.2 美祢の秋 朝霧の来福台

02mine02.htm



美祢の秋は霧・雲海季節。日曜日の朝 楽しみにしていた美祢の霧に出会えました。

日曜日の朝 自宅のある来福台は霧の中。飛び起きて外にでて 約1時間 霧の中に身をおきました この季節になるといつも霧が広がる中を出勤した朝を思い出します。

ダム湖の横の原っぱではいつも霧が地を這い、見てるまに霧が流れ、 朝の光が照り輝く素晴らしい光景を思い出す。 幾度となく写真にとりたいと思いましたがダメでした。

今回も風がなく 街一杯に霧が広がっていて、霧が流れない。薄ぼんやりと太陽が見えているが、霧が

ながれない。

でも 久しぶりに霧を胸いっぱい吸い込んで 霧の街の散歩。

美祢の街が一番美しい時です。



朝霧の中の来福台

2002. 10. 13. 早朝

### 16. 3. 「せめんだる」というお菓子知っていますか・・・

02mine03. htm

「セメン樽」とは 昔 輸送の為 セメントを詰めて運んだ樽  
セメントというとあの紙袋をイメージするのですが、「昔セメントは樽に入っていた。  
そして 小野田にはそのセメントの形をした和菓子  
最中「せめんだる」が名物としてあると息子が言う。



小野田はよく通った街 今回も昔の仲間と小野田で出会うことになっている。でも そんな「最中」聞いたことがない。 小野田駅前の菓子屋に「せめんだる」確かにありました。

セメントにちなんだ銘菓「せめんだる」があるなら 鉄にだってそれに由来する銘菓が合ってもよさそうであるが、鉄の街 釜石にも八幡・室蘭 そして 我が故郷 鉄の街尼崎でも思い浮かばない。

いつもの通り フルスPEED 二日間の美祢でしたが、 小野田で旧交を温めることも出来ました。

また、娘一家と一緒に初めての美祢。

ほかにも 秋芳洞・川棚温泉で瓦そばを食べて

黒田さんちのみんなにもそして犬の「チャ」にも世話になって孫も大喜びでした。

また 一つ 美祢に行く楽しみが増えました。